



## 3年生がんばれ!! 中学生の進路について考える 校長 鈴木富樹

現在3年生は、義務教育を終えた後の進路決定に向け、各自の志望する高校を受験しています。都立高校の一般受検が2月23日です。まだまだ3年生の頑張りは続いています。この受験期を機会に、保護者の皆さんと「進路」について考えたいと思います。

ところで、中学生は、将来なりたい職業をどのように考えているのでしょうか。

平成21年のベネッセの子ども生活実態基本調査では、次のような結果が出ています。

男子は、1位野球選手、2位サッカー選手、3位芸能人、4位教員、5位調理師・コック、6位研究者・大学教員、医師、公務員、9位ゲームクリエイター・ゲームプログラマー、10位コンピュータプログラマー・システムエンジニア、大工となっています。



女子は、1位保育士・幼稚園教師、2位芸能人、3位ケーキ屋さん・パティシエ、4位看護師、5位漫画家・イラストレーター、6位デザイナー、7位動物飼育員・訓練士、理容師・美容師、9位教員、10位医師となっています。皆様のお子さんは、どのように考えているのでしょうか。



学校教育では、進路について、特別活動の「学級活動の内容」に、「学業と進路」として、「学ぶことと働くことの意義の理解、自主的な学習態度の形成と学校図書館の利用、進路適性の吟味と進路情報の活用、望ましい勤労観・職業観の形成、主体的な進路の選択と将来設計」という内容が位置付けられ、計画的に行われています。

これらは、生徒が「将来に夢や希望を抱き、意欲的で主体的に学習に取り組むことの大切さ」と、「将来の生き方や進路に関する体験をしたり、情報の活用を図りながら、個性や学習の成果を生かす進路を自分の意志と責任

で考え、選択していくことの大切さ」を学ぶ内容です。これらの学習は、学級活動だけでなく、各教科や道徳、総合的な学習の時間の教育活動と関連させながら、各学年の段階に応じて行われています。

具体的に本校では、入学や進級当初に、各教科の「学びの手引き」を通して、何を学ぶのか、何のために学ぶのか、どんな学習をすればよいかなどについて指導をしています。また、社会人の講話を聞いたり、他人との関わりを通して自分の良さを発見したり、個性を磨いたりする学習も行っています。更に、職業調べや5日間の職場体験学習、上級学校調べや高校入試選抜のしくみなどの学習も行い、3年間にわたり、将来の進路について考え、話し合う取組を行っています。



私たちは、3年生が義務教育を終え、卒業した後どのような進路を考えるかについては、生徒の意見や考えを尊重しながらも、保護者の方の意見も尊重させていただいています。その上で、保護者の皆様と連携し、生徒一人一人の進路を粘り強く支援していくよう努めています。



1, 2年生も、下旬には後期期末考査があります。学ぶことと進路は別ではありませんので、授業に集中し家庭学習も計画的に行い、将来の進路につなげられるよう、保護者の皆様と協力し合っていきたいと思ひます。

### お知らせ

- ◇ 2月23日(土) 都立高校一般入試
- ◇ 2月25日(月)～2月27日(水) 後期期末考査(給食あります)
- ◇ 3月8日(金) 3年校外学習 JICA(国際協力機構)、上野美術館巡り
- ◇ 3月9日(土) 土曜日授業、**弁当持参** 三送会、3年生国際7-T、7I7、保護者会

